

③ 関係資料

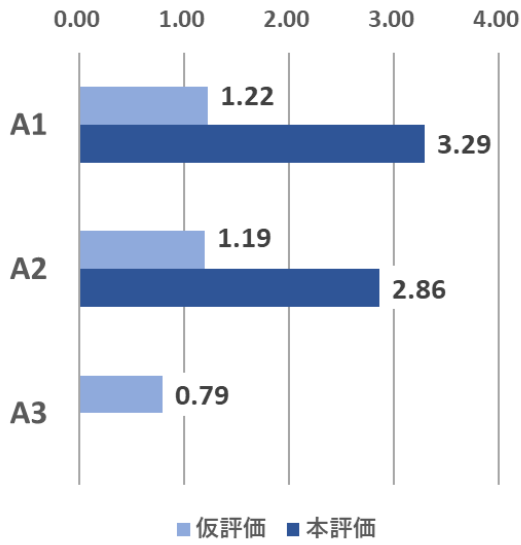


図1：「AS I」仮評価と本評価の結果

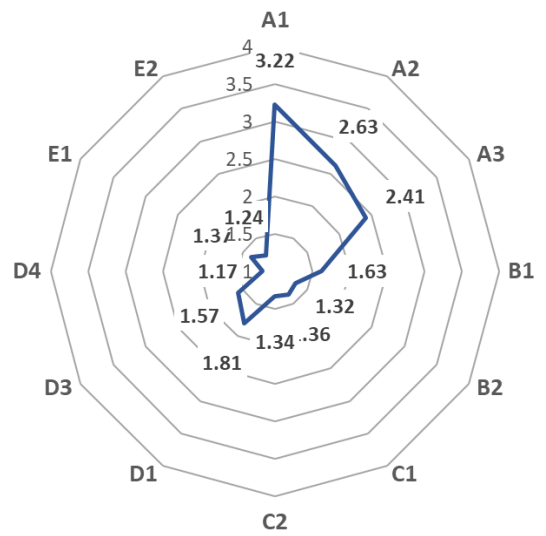


図2：「AS I」自己評価（2月）の結果

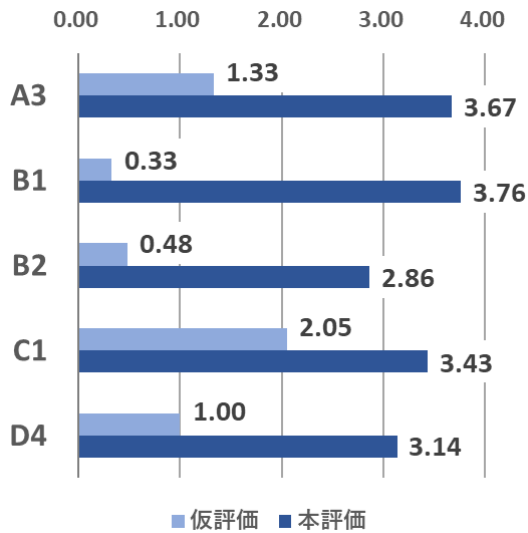


図3 「AS II」仮評価と本評価の結果

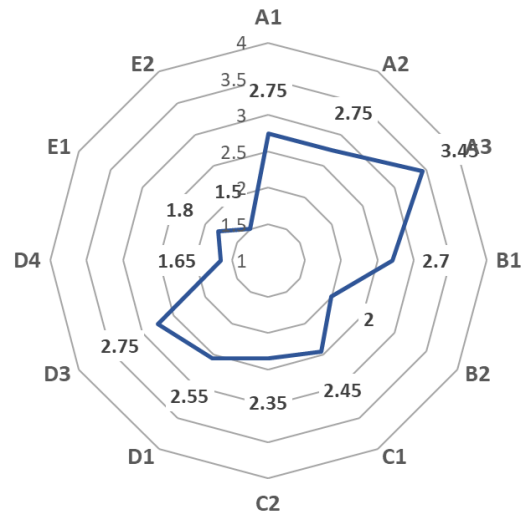


図4 「AS II」自己評価（12月）の結果

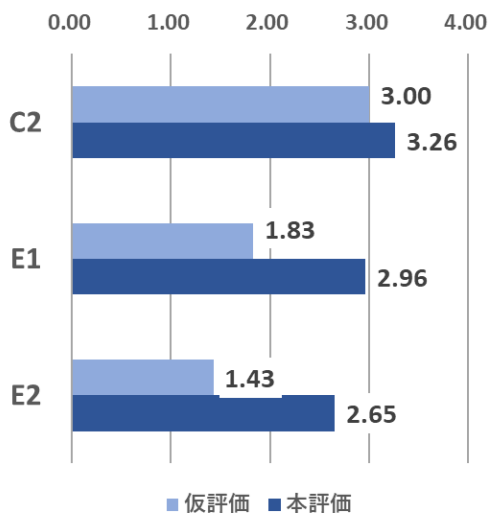


図5 「AS III」仮評価と本評価の結果

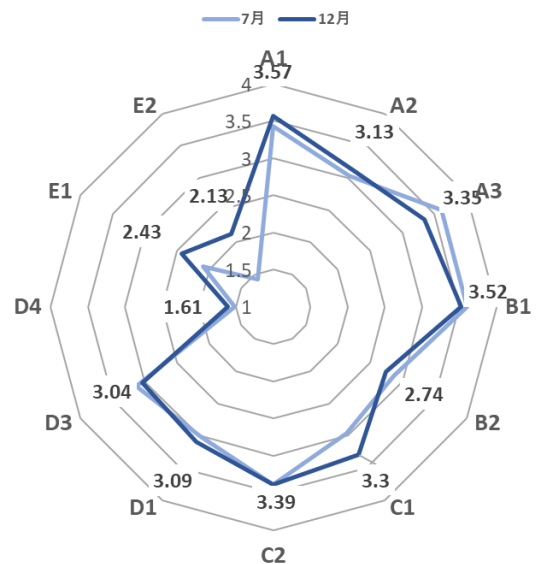


図6 「AS III」自己評価の結果

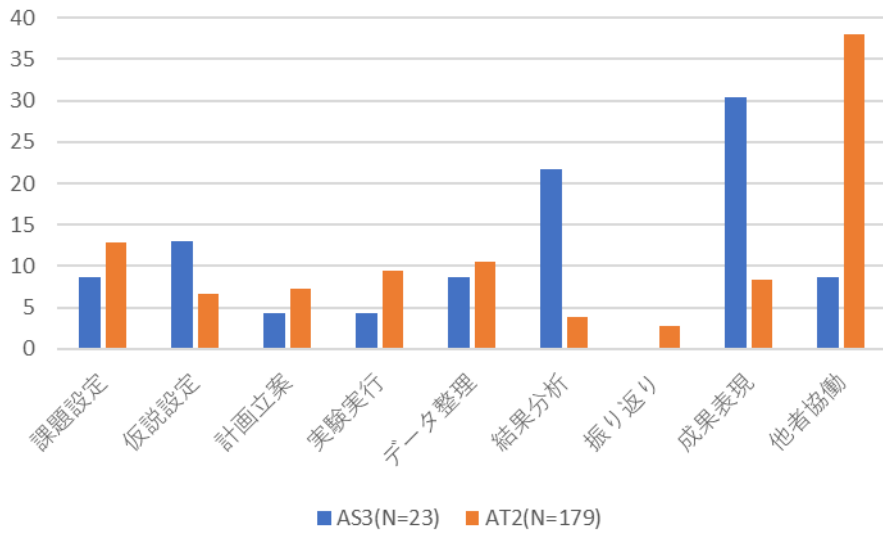


図7: 3年間で最も伸びた能力 (縦軸は割合)

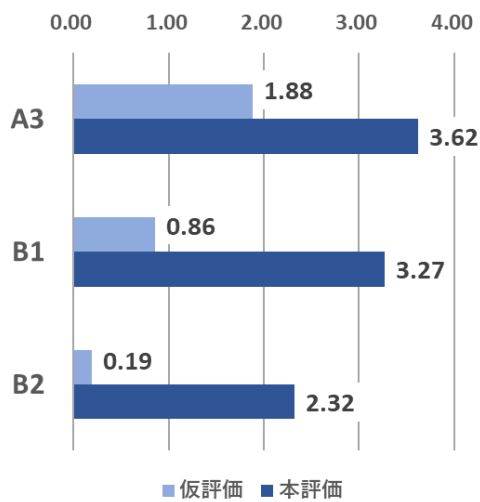


図8 「AT I」 仮評価と本評価の結果

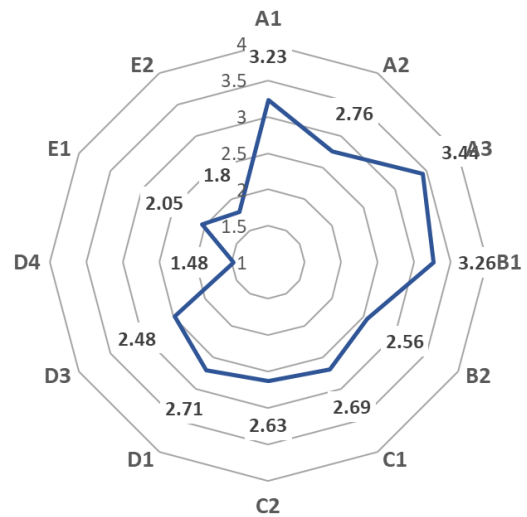


図9 「AT I」 自己評価 (2月) の結果

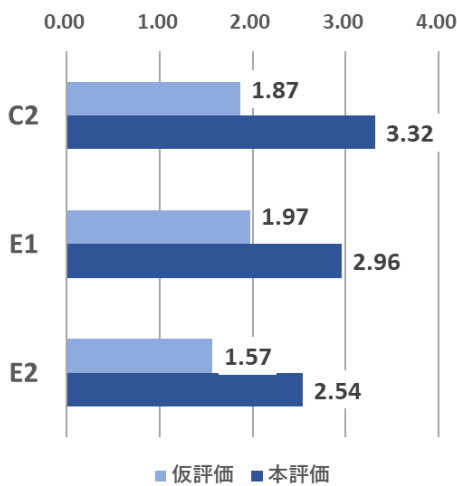


図10: 「AT II」 仮評価と本評価の結果

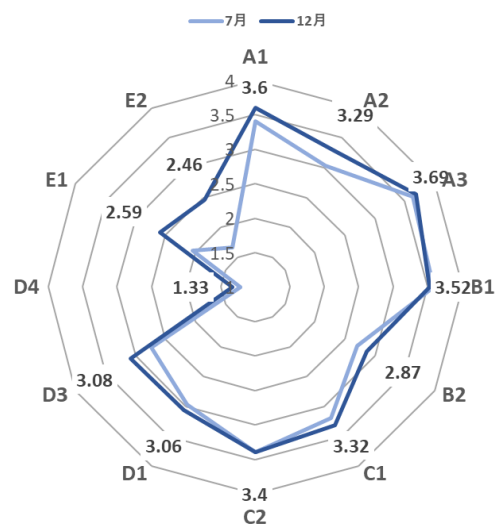


図11: 「AT II」 自己評価の結果

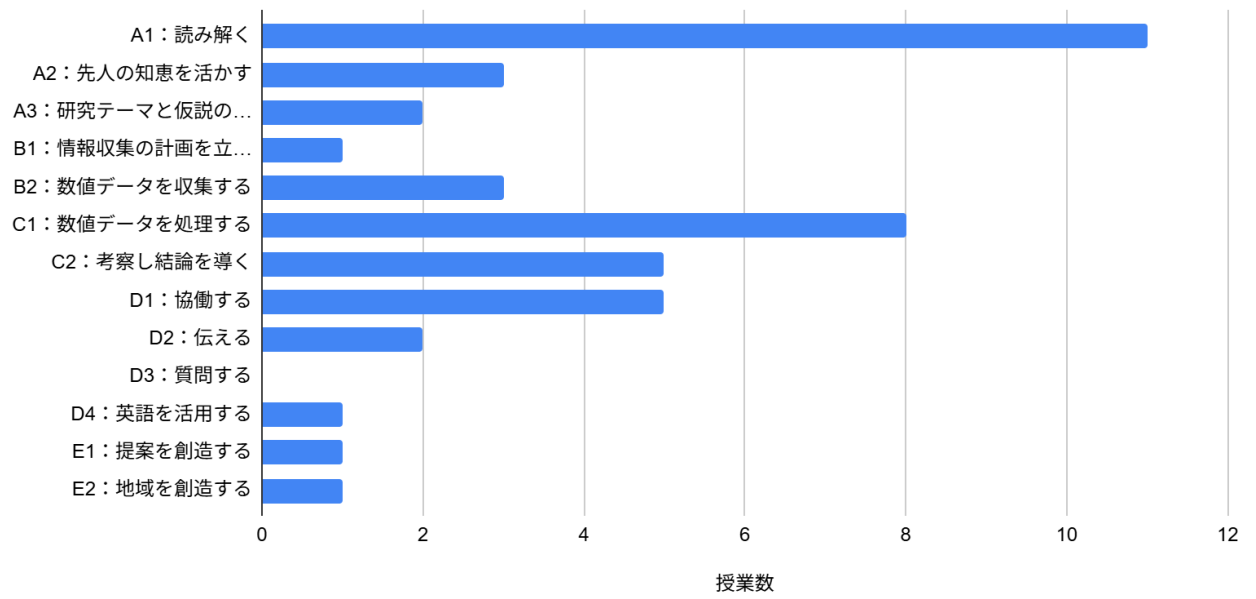


図 12：天高版探究型授業での設定場面数（43 回答）

運営指導委員会議事録

SSH Ⅱ期 第7回 運営指導委員会議事録 (2025. 9. 3)

1. 開会および挨拶

司会: 定刻となりましたので開会をさせていただきたいと思っております。ただいまから、熊本県立天草高等学校スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 2期 第7回 運営指導委員会を開会いたします。まず開会にあたりまして、高校教育課長の横川からご挨拶を申し上げます。

横川: 皆さんこんにちは。横川と申します。どうぞよろしくようお願い申し上げます。本日は運営指導員の皆様方におかれましては、ご多用の中、委員会にご出席くださいまして誠にありがとうございます。委員の皆様には、天草高校のスーパーサイエンスハイスクールの取り組みに対し、日頃からご支援、ご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。また岩崎校長先生を始め、天草高校の教職員の皆様には SSH 研究開発の実践に対し、日頃からご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。さて、今年度から鹿児島大学農学部の山本正様、熊本日日新聞天草総局長の野方慎介様に運営指導委員として、また県立教育センターの長里指導主事には SSH 研究開発アドバイザーとしてご指導・ご助言を賜ります。昨年度から引き続きの先生方も含めまして、改めて天草高校における SSH 事業へのご支援とご協力をお願いいたします。

本校の研究開発課題は、「探究の視点で地域を見つめ 科学的思考で持続可能世界を作る 科学技術人材育成」でございます。探究的な学びを通して地元天草の課題を解決し、ひいては国際的に活躍する科学技術系人材の育成に取り組んでいるところです。本日は今年度実施している SSH 研究開発の事業につきまして、学校から説明がございます。その後、昨年度実施されました SSH 指定第2期の中間評価の結果を受けて、本校で取り組まれた SSH 事業の改善点と今後の事業展開についてご協議いただきます。委員の皆様には、本校事業のこれまでの成果と課題をご確認いただくとともに、今年度の取り組みが事業目的に沿った研究開発となっているかという視点からもご助言をお願いしたいと思っております。客観的な視点で本校の取り組みに対しまして忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。続きまして、天草高等学校の岩崎校長先生からご挨拶をお願いいたします。

岩崎: 皆さんこんにちは。天草高校の岩崎でございます。本日はご多用のところ、渡邊委員長様を始め本 SSH 運営指導員の皆様方、関係機関の皆様にはリモートでご参加いただき、誠にありがとうございます。昨年度、本校は第2期3年目の中間評価の該当年でした。評価結果は全ての評価項目で「A評価」ということで、全国で最上位となる素晴らしい評価をいただくことができました。本校の SSH の目標達成に向け、全職員そして全生徒で取り組んできたことが大変名誉なことであり、これから取り組みを続ける上で大きな自信となりました。これも本日の皆様、天草市を始めとする地域の皆様、各大学の先生方のご支援があればこそと改めて感謝申し上げます。

さて、本年度は第2期の4年目として、取り組みのさらなる充実・進化のため工夫改善を進めているところです。私は全生徒に話をするとき、「たくさん失敗をなさい。たくさん失敗をするということはたくさん挑戦をしたことの証です」と話すようにしています。寺田寅彦先生の随筆『科学者とあたま』の一節、「失敗を怖がる人は科学者にはなれない」という言葉を引用しています。この話がどれだけ伝わっているか気になっておりましたが、7月に行った研究発表会の中で、多くの生徒の発表の中に失敗の痕跡がたくさん見えました。仮説を立て実証実験を試みたがうまくいかないとき、どこに問題があったのか立ち返って仮説そのものを再検討したり、実験方法を考え直したりと、発表を体裁よくまとめるのではなく、失敗から逃げずに探究を続けている姿勢が見えました。本校の探究はまだまだ稚拙なものもありますが、一歩ずつ前へ進んでいるものと信じています。本日は忌憚のないご意見を頂戴し、これからの活動に生かしていきたいと思っております。

司会: ありがとうございます。本日の日程ですが、16時に終了する予定でございます。それでは早速ですが、報告に移りたいと思っております。天草高校の SSH 研究主任、宮崎先生から説明いただきたいと思います。

2. 研究開発の概要報告

宮崎: 天草高校 SSH 研究主任の宮崎です。それでは、SSH 2期4年目の研究開発報告をさせていただきます。

きます。本校の研究開発課題は「探究的な問いの視点で地域を見つめ 科学的思考で持続可能世界を作る科学技術人材育成」です。達成のために「問いを立てる力」「情報を収集する力」「分析する力」「対話する力」「創造する力」の5つの力を設定しております。この力を13の探究場面を授業や探究活動の中に設定することで育成を図るのが、本校のSSHのアウトラインです。

本校では学校設定科目として「天草サイエンス（AS）」および「天草探究（AT）」を設定しております。1年生の「AS1」で基礎を固め、2年生からは自然科学に特化した「ASクラス」と、文理融合で地域へ提言を行う「AT」に分かれて活動します。指導と評価の一体化を図るため、独自のルーブリックや「質疑による評価シート」を活用しています。これら全てを合わせまして「ARP（天草探究プロセス）」と呼んでいます。また、通常授業の中にも13の探究場面を設定した「天草版探究型授業」を行っております。

昨年度の成果としては、中間評価でのA評価のほか、異学年交流の導入、授業中の観察による評価、国立大学の推薦入試での合格者の増加が挙げられます。課題としては、探究時間の確保、教科間連携の深化、外部連携のさらなる進化が必要だと考えています。今年度のキーワードは「対話」とし、双方向の連携を目指しています。2年生の課題研究で行き詰まってしまう生徒に対し、先行研究調査の徹底や連携交流の改善を図っています。熊本大学や熊本県経済動向産業政策課の方々と連携し、外部の視点を取り入れています。科学部は部員が35名に増え、特に女子が21名と一大勢力になっています。アマモ班やホテル班が大規模な調査や地域交流を行っています。授業面では、各教員がどのような探究場面を設定しているかを付箋で「見える化」する取り組みを始めました。外部連携としては、北九州研修や、8月に実施したシンガポール研修での大きな学びがありました。今後は地域との連携強化に向けて、愛媛県の事例も参考にしながら、地域内での発表会や自治体との連携を進めていきたいと考えています。

3. 研究協議：地域との連携強化

渡邊（委員長）：ここから司会を交代させていただきます。それでは、宮崎先生からご提案いただいた内容につきまして、ご質問やご意見をお願いします。

田丸：3月にアーケード街で発表をやった成果と、その後の繋がりについて教えてください。

宮崎：銀天街の方々からは「来年もよろしく」と言っていただきました。発表を聞いてくださった県の水産振興課の方から、「全国豊かな海づくり大会」への推薦にお声がけいただくなどの繋がりもできています。

市川：環境シンポジウムでの課題について具体的に教えてください。

宮崎：生徒主体を重視するあまり、内容の練り上げや指導が不十分だった面があります。また、告知不足で参加者が少なかった点も反省としてあります。

渡辺：SSHの今後のあり方について、文部科学省から指定期間の短縮や、予算配分を「先端研究」「国際性」「地域連携」の3つの類型に分ける案が出ています。天草高校としては、どの方向性を目指しますか？

宮崎：地域をしっかりと目指してやっていきたいと考えています。

藤野：制度変更の詳細を補足します。指定期間は20年に圧縮され、各類型の取り組み状況に応じて予算が加点されます。類型1が地域連携、2が科学研究、3が国際性で、3に近いほど予算が多くなる傾向が示されています。また、不採択となった場合の認定枠にも予算が付く可能性が出てきました。

渡辺：地域との連携について、具体的なアイデアをお願いします。

橘：長崎大学が天草市や信用金庫と行っている企業相談会を利用して、食品関係の研究などで連携できるのではないのでしょうか。

岩崎：天草の主要産業である水産資源へのアプローチが不足していたため、ぜひ連携をお願いしたいです。

市川：小さい研究の積み重ねも大事ですが、天草のメインストリームである産業の活性化に繋がるような、インパクトのある研究を目指すべきですね。

田丸：企業との連携において、高校生がやりたいことを企業が手伝うだけでなく、「ギブ・アンド・

テイク」の関係が重要です。例えば、高校生によるリサーチ結果を企業が利用できるような仕組みがあれば、企業側にもメリットが生まれます。

山本：天草の伝統野菜や在来作物といった生物資源に新たな価値を見出す研究も、地域おこしの観点から面白いと思います。

渡辺（委員長）：愛媛県の長浜高校が水族館を運営している例のように、「地域の中で天草高校がどう輝くか」という視点が重要です。

野方：天草では少子化が進み、市外への進学も増えています。天草高校のユニークな取り組みを、地元の小中学生や保護者に分かりやすく伝える機会を増やすべきです。

岩崙：1月10日を目標に、地域の小中学校と連携した発表の場を検討中です。

渡辺：中学校の理科教員が不足している現状があり、高校生が中学生の自由研究にアドバイスする形はニーズに合致しています。これからの学びは「異分野融合」がキーワードになります。

4. 総括と閉会

岩崙：今日は貴重なご意見をありがとうございました。「地域でどう輝くか」という視点や、子供たちへの発信の重要性を再認識しました。天草は日本の40年先を走る少子高齢化の厳しい状況にありますが、SSHの活動を地域を変える力にしていきたいです。

横川：本校のSSHは学校運営の根幹であり、地域と共に学校を作っていくモデルとなることを期待しています。

司会：以上を持ちまして、天草高校2期第7回の運営指導委員会を終了させていただきます。

SSHⅡ期第8回運営指導委員会議事録(2026.3.17)

1. 開会および挨拶

藤野：本日はよろしくお願ひいたします。ただ今から、天草高等学校スーパーサイエンスハイスクール2期第8回運営指導委員会を開会します。まず高校教育課長の横川から挨拶を申し上げます。

横川：皆さん、おはようございます。年度末の大変ご多忙な中、本日の委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、天草高校のSSHの取り組みに対し、日頃からご支援・ご協力をいただいていることに心から感謝申し上げます。校長先生をはじめ先生方におかれましては、昨日の研究発表会の開催や、地元企業との連携による共同研究、環境シンポジウムの開催を通じて、地域と一体となった社会実装に取り組みられ、SSHの発展にご尽力いただいています。これらの取り組みに対し、昨年11月に三重県で行われた「全国豊かな海づくり大会」において、天草高校科学部が農林水産大臣賞を受賞されました。地域の特色を生かした取り組みは各方面から注目されており、全国の理数教育の改善に資するものと期待しています。本日は2期4年目を総括する委員会です。来年度は2期最終年度であり、新制度の「発展1期」指定に向けた申請を行う重要な年でもあります。次期指定継続に向け、委員の皆様からは忌憚のないご指導・ご助言をお願い申し上げます。

進行役：続きまして、天草高等学校の岩崙校長先生からご挨拶をいただきます。

校長：皆さん、おはようございます。日頃より本校SSH活動へのご理解とご支援を賜り、お礼申し上げます。また、JSTの野沢様、熊本大学の市川様、渡辺様、県教育委員会の本山様、藤野様におかれましては、昨日の発表会から連日のご参加、誠にありがとうございます。4.皆様の丁寧なご指導のおかげで、無事に研究活動を終えることができました。4.本校は今期で4年目、通算9年目を迎えています。2期からは全校体制で探究活動ができる体制を整え、「天草版探究型授業」として、5つの力と13の探究場面を設定し取り組んできました。特に13の探究場面については、コンピテンシー・ベースとコンテンツ・ベースの両面で教科間連携を図れるよう、本年は特に力を入れてきました。国際交流では、韓国のトピオン高校と10年以上にわたり姉妹校連携を結んでいます。今年度は初めてトピオン高校の生徒も本校の発表会に参加し、ポスター発表を行いました。また、台湾研修でお世話になっている台湾の国立彰化高級中学とも、今年度ついに友好協定を締結しました。これにより日・台・韓の高校同士の繋がりができました。生徒たちも探究活動に前向きに取り組んでおり、皆様のご支援に感謝しております。

2. SSH 研究開発の概要報告

藤野： 続きまして、天草高校から2期4年間の成果と課題、および今年度の事業報告をしていただきます。宮崎先生、よろしく申し上げます。

宮崎： 令和7年度の報告と、時期申請に関わる案の二部構成で説明します。まず2期の研究開発課題は「探究の視点で地域を見つめ、科学的な思考で持続可能な世界を作る科学技術人材の育成」です。5つの力を育成するため、13の探究場面を設定しています。この全体像を天草探究プロセス（ARP）と呼んでいます。「研究開発1」は授業内容、「2」は課題研究、「3」は外部・海外連携です。課題研究では、1年次に基礎を固め、2年次に文理融合の研究、3年次に世界への発信・提言という流れになっています。指導と評価については、13の探究場面に対応したルーブリック**を活用し、昨年度からは「観察」による評価も加えて指導の明確化を図っています。教科間連携では、場面の連携（コンピテンシー）と内容の連携（コンテンツ）の共通理解を図り実践しています。

今年度のテーマは「双方向の連携」、キーワードは「対話」です。「研究開発1」の課題研究では、先行研究の調査不足を解消するため、「探究スキルアップ講座」を研究活動と直結させる形に改定しました。その結果、1年生の「読み解く力」や「先人の知恵を生かす力」の評価が大幅に向上しました。また、熊本大学や天草市から地域課題や思考のまとめ方を学びました。2年生の課題研究では、異学年交流の時期を再検討し、深化を図りました。探究ポートフォリオや自由進度探究の導入も試みましたが、計画の構築に難しさがあり、今後の課題です。科学部では、アマモ班が小学生の研究支援や地域住民への発表を行い、ホタル班は環境シンポジウムや高校生シンポジウムで活躍しています。さらに、南洋理工大学の佐藤教授との連携でサイボーグ昆虫の研究も進んでいます。授業（研究開発2）では、全職員が少なくとも一度は探究型授業を実践しました。外部連携（研究開発3）では、北九州研修での学びや、台湾・シンガポールでの海外研修、WWF Japan を招いた環境シンポジウムなどを実施しました。9年目は多くの「対話」を経て、大きな広がり構築できました。この繋がりをさらに拡張し、次期申請に繋げていきたいと考えています。

3. 研究協議（質疑応答）

藤野： 概要説明に対する質問をお受けします。

市川： ポートフォリオと自由進度探究の狙いと、うまくいっていない点について教えてください。

宮崎： 自分で研究計画を立て、評価日までには仕上げる自律的な活動を期待しましたが、初めての経験で時間の使い方が分からなかった生徒も多かったようです。ポートフォリオも家庭での記録時間の確保が難しく、浸透しきれませんでした。

市川： 自分で計画を立てる慣れの問題かもしれません。実験ノートの記録との関連性も考えると良いかもしれません。

渡辺： ルーブリックのグラフは教員による評価ですか。

宮崎： はい、教員による評価です。

渡辺： 教師間で基準をすり合わせているとは思いますが、最終年度に向けて「何をもってこの評価としたか」というエビデンスを明確にすることが重要です。

4. 次期（新発展1期）への申請素案報告

宮崎： 時期申請の素案を説明します。基本コンセプトは、本校のSSHから「天草のSSH」への広がり、そして「地域との共同研究から社会実装へ」です。5つの力のうち「1つのプロフェッショナル」を目指す集団を育成したいと考えています。具体的な案としては以下の通りです。

- 研究開発1： スキルアップ講座の分割開催、探究デーの設定、卒業生を含む外部メンバーの活用、探究インターンシップの検討。

- 研究開発2： 国語と英語を融合した**「言語学究」（論理的な議論を学ぶ）や、自由な探究時間「自分探究講座」の創設。

- 研究開発3： 熊本大学や台湾・シンガポールとの共同研究の深化。全ての授業が有機的に結びつくカリキュラムを目指しています。

5. 運営指導委員による協議

市川： 社会実装の「程度」はどのあたりを想定していますか。高校生にはハードルが高い面もあるかと思いますが。

宮崎： 科学部が市役所と連携して提案しているようなレベルを一つの目標とし、各コースで段階的に引き上げていきたいと考えています。

市川： 地元企業や商店との連携など、身近なところからの社会実装は非常に意義があると思います。

渡辺： 高校生ができることには限界があり、地域の「優しさ」に支えられている面もあります。実利とのバランスは重要です。また、外部メンターに頼りすぎると大学側が疲弊する懸念もあります。問い合わせの作法なども含めた指導が必要です。

宮崎： メンターへの依頼方法は確かに課題です。

元山： 熊本にはKSC（熊本サイエンスコンソーシアム）という窓口があり、大学の先生へ失礼なく繋ぐ仕組みがあります。オンライン活用も増えていますので、ぜひ活用してください。

藤野： 来年度からは、大学教員経験者をSSHコーディネーターとして週3回任用し、オンラインで探究の相談に乗れる体制を整える予定です。また、生徒同士で問いをブラッシュアップする手法も有効です。

橘： 3年生が後輩のメンターやアシスタントとして関わることは可能ですか。

宮崎： 受験勉強の時期との兼ね合いがあり、授業時間内では難しい面もありますが、検討の余地はあります。

6. まとめと講評

市川： 素晴らしい活動ですので、さらに広げて行ってほしいです。

橘： 非常に内容がよくまとめられています。次年度も頑張ってください。

野方： アーケードでの発表を一般の方が興味深く聞いていました。土曜日などパブリックスペースで、地域住民や小中学生を巻き込む機会を増やせると良いですね。

長里： 対話を通じて問いが深まる経験は重要です。「言語学究」などで議論の力を育てることは、探究力を高めることに直結すると思います。

本山： 他県のSSHとの連携も、コーディネーターを通じてどんどん進めてください。

渡辺： 今回のテーマ「対話」は重要です。相手にわかるように伝える「優しさ」や、相手の応答にどう返すかというスキルは、社会に出ても必要な本質的な力です。天草の良さを失わずに伸ばしてほしいと思います。

校長： 頂いたご意見はどれも身に染みるものでした。時期申請に向け、より良い方向を見つけていきたいと思います。本日はありがとうございました。

藤野： 成果が出ているからこそ、次のテーマ設定が難しい面もあるかと思いますが、実行性のある計画を立て、天草高校の特色を生かした申請に繋げていきましょう。

以上をもちまして、運営指導委員会を終了させていただきます。

教育課程表

学校番号(26)

令和7年度(2025年度) 教育課程表		熊本県立天草高等学校 全日制											
学 科		普通 科											
入 学 年 度		令 和 6 年 度 (2 0 2 4 年 度) 入 学											
令和7年度(2025年度)現在の学年(○印)		I	II			III				計			
教科	科目	全	文	理	AS	文	理1	理2	AS	文	理1	理2	AS
国語	現代の国語	2	2							2	2	2	2
	言語文化	2	3							3	3	3	3
	論理国語	4		3	2	2	3	2	2	2	6	4	4
	文学国語	4											
	国語表現	4											
地理歴史	古典探究	4		3	2	2	3	2	2	2	6	4	4
	地理総合	2		2	2	2				2	2	2	2
	地理探究	3				5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4
	歴史総合	2		2	2	2				2	2	2	2
	日本史探究	3				5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4
公民	世界史探究	3				5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4
	公倫共	2	2							2	2	2	2
	倫理	2											
	政治・経済	2		2			2	4	4	4	0.4	0.4	0.4
	数学 I	3	2							2	2	2	2
数 学	数学 II	4	1	3	2	2				4	3	3	3
	数学 III	3						4	4	4	4	4	4
	数学 A	2	2							2	2	2	2
	数学 B	2		1	1	1	3	2	2	4	3	3	3
	数学 C	2		1	2	2				1	2	2	2
	*実践数学 A	5						5				5	
	*実践数学 B	2					2			0.2			
理 科	科学と人間生活	2											
	物理基礎	2			2	2					0.2	0.2	0.2
	物理	4			1	1		4	4	4	0.5	0.5	0.5
	化学基礎	2			2	2				2	2	2	
	化学	4			2	1		4	4	4	6	6	5
	生物基礎	2		1	2	2	2			3	0.2	0.2	0.2
	生物	4			1	1		4	4	4	0.5	0.5	0.5
	地学基礎	2		1			2			3			
保体健育	体育	7~8	3	3	3	3	2	2	2	2	8	8	8
	保健	2	1	1	1	1				2	2	2	2
芸 術	音楽 I	2	2							0.2	0.2	0.2	0.2
	音楽 II	2		2						0.2			
	音楽 III	2											
	美術 I	2	2							0.2	0.2	0.2	0.2
	美術 II	2		2						0.2			
	美術 III	2											
	書道 I	2	2							0.2	0.2	0.2	0.2
	書道 II	2		2						0.2			
	書道 III	2											
	*音楽表現	2					2			0.2			
外 国 語	*美術表現	2					2			0.2			
	*書道表現	2					2			0.2			
	英語コミュニケーション I	3	3							3	3	3	3
	英語コミュニケーション II	4		4	4	4				4	4	4	4
	英語コミュニケーション III	4					4	3	3	4	3	3	3
	論理・表現 I	2	2							2	2	2	2
	論理・表現 II	2		2	2	2				2	2	2	2
家 庭 情 報	論理・表現 III	2				2	2	2	2	2	2	2	2
	家庭基礎	2	2							2	2	2	2
* 社 会 人	家庭総合	4											
	情報 I	2	1							1	1	1	1
* S S H	*実践情報	1				1	1	1	1	1	1	1	1
	*社会人	2				2				0.2			
	*数科学探究 I	1			1	1					1	1	1
	*数科学探究 II	1						1	1		1	1	1
	*総合理科	4	4							4	4	4	4
	*天草サイエンス I	2	2							2	2	2	2
	*天草サイエンス II	2			2	2							2
	*天草サイエンス III	1							1				1
*天草探究 I	1		1	1					1	1	1	1	
*天草探究 II	1				1	1	1		1	1	1	1	
各学科共通教科計		32	32	32	32	32	32	32	32	96	96	96	96
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3
総探		3~6											
合 計		33	33	33	33	33	33	33	33	99	99	99	99

- *は学校設定教科・科目
- ・1年次の数学は「数学 I」を履修した後に「数学 II」を履修する。
- ・1年次の「科学と人間生活」2単位は「総合理科」4単位で代替する。
- ・2年次理系の理科は「化学基礎」を履修した後に「化学」を履修する。また「物理基礎」「生物基礎」を選択履修した後に「物理」「生物」を選択履修する。
- ・1年次の「情報 I」1単位および「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンス I」2単位で代替する。
- ・2年次ASコースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンス II」2単位で代替する。
- ・3年次ASコースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンス III」1単位で代替する。
- ・2年次文系・理系コースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草探究 I」1単位で代替する。
- ・3年次文系・理系コースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草探究 II」1単位で代替する。

令和7年度(2025年度)教育課程表			熊本県立天草高等学校 全日制												
学 科			普通 科												
入 学 年 度			令和6年度(2024年度)入 学												
令和7年度(2025年度)現在の学年(○印)			I	II				III				計			
教科	科目	類型(コース) 標準単位数	全	文	理	AS	文	理1	理2	AS	文	理1	理2	AS	
															国語
国語	現代の国語	2	2								2	2	2	2	
	言語文化	2	3								3	3	3	3	
	論理国語	4		3	2	2	3	2	2	2	6	4	4	4	
	文学国語	4													
	国語表現	4													
地理歴史	古典探	4		3	2	2	3	2	2	2	6	4	4	4	
	地理総合	2		2	2	2					2	2	2	2	
	地理探究	3					5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4	
	歴史総合	2		2	2	2					2	2	2	2	
	日本史探究	3					5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4	
公民	世界史探究	3					5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4	
	公民	2	2								2	2	2	2	
	倫理	2													
	政治・経済	2		2			2	4	4	4	4	0.4	0.4	0.4	
	数学I	3	2								2	2	2	2	
数 学	数学II	4	1	3	2	2					4	3	3	3	
	数学III	3						4		4	4	4	4	4	
	数学A	2	2								2	2	2	2	
	数学B	2		1	1	1	3	2	2	2	4	3	3	3	
	数学C	2		1	2	2					1	2	2	2	
	*実践数学A	5							5				5		
	*実践数学B	2					2				0.2				
	科学と人間生活	2													
	物理基礎	2			2	2						0.2	0.2	0.2	
	物理	4			1	1		4	4	4		0.5	0.5	0.5	
理 科	化学基礎	2			2	2					2	2	2	2	
	化学	4			2	2		4	4	4	6	6	6	5	
	生物基礎	2		1	2	2	2				3	0.2	0.2	0.2	
	生物	4			1	1		4	4	4		0.5	0.5	0.5	
	地学基礎	2		1			2				3				
	地学	4													
	保健	7~8	3	3	3	3	2	2	2	2	8	8	8	8	
芸 術	音楽I	2	2								0.2	0.2	0.2	0.2	
	音楽II	2		2							0.2				
	音楽III	2													
	美術I	2	2								0.2	0.2	0.2	0.2	
	美術II	2		2							0.2				
	美術III	2													
	書道I	2	2								0.2	0.2	0.2	0.2	
	書道II	2		2							0.2				
	書道III	2													
	*音楽表現	2					2				0.2				
	*美術表現	2					2				0.2				
	*書道表現	2					2				0.2				
	外 国 語	英語コミュニケーションI	3	3								3	3	3	3
		英語コミュニケーションII	4		4	4	4					4	4	4	4
		英語コミュニケーションIII	4					4	3	3	3	4	3	3	3
論理・表現I		2	2								2	2	2	2	
論理・表現II		2		2	2	2					2	2	2	2	
家 庭	論理・表現III	2					2	2	2	2	2	2	2	2	
	家庭基礎	2	2								2	2	2	2	
情 報	家庭総合	4													
	情報I	2	1								1	1	1	1	
	*実践情報	1					1	1	1	1	1	1	1	1	
*SSH	*社会人	2					2				0.2				
	*数科学探究I	1			1	1						1	1	1	
	*数科学探究II	1						1		1		1	1	1	
	*総合理科	4	4								4	4	4	4	
	*天草サイエンスI	2	2								2	2	2	2	
	*天草サイエンスII	2				2								2	
	*天草サイエンスIII	1								1				1	
	*天草探究I	1		1	1						1	1	1	1	
*天草探究II	1					1	1	1	1	1	1	1	1		
各学科共通教科計			32	32	32	32	32	32	32	32	96	96	96	96	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	
総探		3~6													
合 計			33	33	33	33	33	33	33	33	99	99	99	99	

*は学校設定教科・科目
 ・1年次の数学は「数学I」を履修した後に「数学II」を履修する。
 ・1年次の「科学と人間生活」2単位は「総合理科」4単位で代替する。
 ・2年次理系の理科は「化学基礎」を履修した後に「化学」を履修する。また「物理基礎」「生物基礎」を選択履修した後に「物理」「生物」を選択履修する。
 ・1年次の「情報I」1単位および「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスI」2単位で代替する。
 ・2年次ASコースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスII」2単位で代替する。
 ・3年次ASコースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスIII」1単位で代替する。
 ・2年次文系・理系コースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草探究I」1単位で代替する。
 ・3年次文系・理系コースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草探究II」1単位で代替する。

令和7年度(2025年度) 教育課程表		熊本県立天草高等学校 全日制												
学 科		普通 科												
入 学 年 度		令 和 5 年 度 (2 0 2 3 年 度) 入 学												
令和7年度(2025年度)現在の学年(○印)		I	II				III				計			
教 科	科 目	全	文	理	AS	文	理1	理2	AS	文	理1	理2	AS	
														類型(コース) 標準単位数
国 語	現代の国語	2								2	2	2	2	
	言語文化	2	3							3	3	3	3	
	論理国語	4		3	2	2	3	2	2	2	6	4	4	
	文学国語	4												
	国語表現	4												
地理歴史	古典探究	4		3	2	2	3	2	2	2	6	4	4	
	地理総合	2		2	2	2				2	2	2	2	
	地理探究	3				5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4	
	歴史総合	2		2	2	2				2	2	2	2	
	日本史探究	3				5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4	
公民	世界史探究	3				5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4	
	公民共	2	2							2	2	2	2	
	倫理	2												
	政治・経済	2		2			2	4	4	4	4	0.4	0.4	
	数学I	3	2							2	2	2	2	
数 学	数学II	4	1	3	2	2				4	3	3	3	
	数学III	3			1	1			4		5	1	5	
	数学A	2	2							2	2	2	2	
	数学B	2		1	1	1	3	1	1	1	4	2	2	
	数学C	2		1	1	1		1	1	1	2	2	2	
	*実践数学A	5										5		
	*実践数学B	2				2				0.2				
	科学と人間生活	2												
理 科	物理基礎	2			2						0.2	0.2	0.2	
	物理	4			1	1		4	4	4	0.5	0.5	0.5	
	化学基礎	2			2					2	2	2		
	化学	4			2	1		4	4	4	6	6	5	
	生物基礎	2		1	2	2	2			3	0.2	0.2	0.2	
	生物	4			1	1		4	4	4	0.5	0.5	0.5	
	地学基礎	2		1			2			3				
	地学	4												
保体 健 育	体育	7~8	3	3	3	3	2	2	2	2	8	8	8	
	保健	2	1	1	1	1				2	2	2	2	
芸 術	音楽I	2	2							0.2	0.2	0.2	0.2	
	音楽II	2		2						0.2				
	音楽III	2												
	美術I	2	2							0.2	0.2	0.2	0.2	
	美術II	2		2						0.2				
	美術III	2												
	書道I	2	2							0.2	0.2	0.2	0.2	
	書道II	2		2						0.2				
	書道III	2												
	*音楽表現	2				2				0.2				
外 国 語	英語コミュニケーションI	3	3							3	3	3	3	
	英語コミュニケーションII	4		4	4	4				4	4	4	4	
	英語コミュニケーションIII	4					4	3	3	3	3	3		
	論理・表現I	2	2							2	2	2	2	
	論理・表現II	2		2	2	2				2	2	2	2	
家 庭	論理・表現III	2				2	2	2	2	2	2	2	2	
	家庭基礎	2	2							2	2	2	2	
情 報	家庭総合	4												
	情報I	2	1							1	1	1	1	
* 社 会 人	*実践情報	1				1	1	1	1	1	1	1	1	
	*社会人	2				2				0.2				
	*数科学探究I	1			1	1					1	1	1	
	*数科学探究II	1					1		1		1		1	
	*総合理科	4	4							4	4	4	4	
	*天草サイエンスI	2	2							2	2	2	2	
	*天草サイエンスII	2				2							2	
	*天草サイエンスIII	1							1				1	
	*天草探究I	1		1						1	1	1	1	
	*天草探究II	1				1	1	1		1	1	1	1	
各学科共通教科計		32	32	32	32	32	32	32	32	96	96	96	96	
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	
総 探		3~6												
合 計		33	33	33	33	33	33	33	33	99	99	99	99	

- *は学校設定教科・科目
- ・1年次の数学は「数学I」を履修した後に「数学II」を履修する。
- ・2年次理系およびASコースの数学は「数学II」を履修した後に「数学III」を履修する。
- ・1年次の「科学と人間生活」2単位は「総合理科」4単位で代替する。
- ・2年次理系の理科は「化学基礎」を履修した後に「化学」を履修する。また「物理基礎」「生物基礎」を選択履修した後に「物理」「生物」を選択履修する。
- ・1年次の「情報I」1単位および「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスI」2単位で代替する。
- ・2年次ASコースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスII」2単位で代替する。
- ・3年次ASコースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスIII」1単位で代替する。
- ・2年次文系・理系コースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草探究I」1単位で代替する。
- ・3年次文系・理系コースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草探究II」1単位で代替する。